

主力製品のシェア拡大を図りつつ、 新市場開拓に向け新製品を投入していきます

代表取締役社長 若尾富士男



第2四半期(連結累計期間)の総括をお願いします。

世界経済を見ますと、米国では自動車や住宅の需要の高まりと共に雇用環境の改善も進んでおり、持続的な景気回復の流れができていますが、欧州では景気回復のペースにばらつきがあり、回復感に実態がともなっていない状況が続いています。また、中国も持続的な経済成長の裏に不動産価格の高騰や大気汚染に係る経済リスクなどの問題を抱えています。

国内経済は、金融政策や経済対策の効果、輸出環境の改善を背景に好循環の動きが徐々に表れています。為替は米ドル、ユーロともに円安での推移となりました。

第2四半期累計期間の水晶製品事業は、引き続きスマートフォン向け製品の需要が堅調に推移し、音叉型水晶振動子「TFX-03」やATカット水晶振動子「FCX-07L」などの超小型製品が全体の売上をけん引し、前年同期比で3.5%増の30億60百万円となりました。アプリケーション別で見ますと、無線モジュールを含むスマートフォン・携帯電話向けの販売は、取引先からの値下げ要請が厳しく、平均販売価格の低下が目立つ状況でありましたが、20億84百万円(無線モ+スマホ)と前年同期比で10.8%増加しました。その他の電子部品事業におきましては、事業縮小・終了の影響にともない、抵抗器・インダクタ分野では販売数量が減少しました(前年同期比19.4%減)。

その結果、連結の売上高は、31億1百万円(前年同期比3.1%増)になりました。損益につきましては、営業利益は、製販一体となっ

てコスト削減に徹底的に取り組んだものの、販売価格下落の影響を吸収するまでに至らず、9百万円(前年同期比77.5%減)にとどまり、減益となりました。経常利益は為替差益の計上もあり93百万円(前年同期比160.5%増)と大幅な増益となりました。

今後の成長戦略などをお聞かせください。

当社が販売を注力しているスマートフォンの世界市場は、その半分近くを二大メーカーが占めている状況ですが、普及台数は2013年の22億台から、東京オリンピックが開催される2020年には40億台を超えるとの予想が出ております。また、需要も高機能モデルと低価格モデルへ二極化が進んで行くものと思われま。当社の主力製品である「TFX-03」及び「FCX-07L」は、主に高機能モデルに採用されておりますが、引き続き販売攻勢をかけて行きます。更に今後は、成長が期待できる新興メーカーなど、新規顧客の獲得に向けた営業活動を強化します。

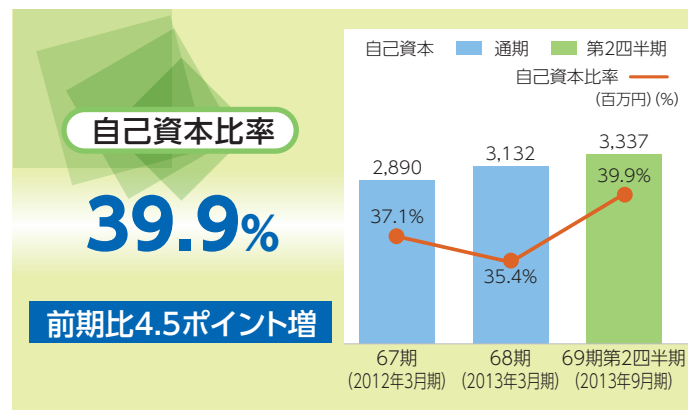
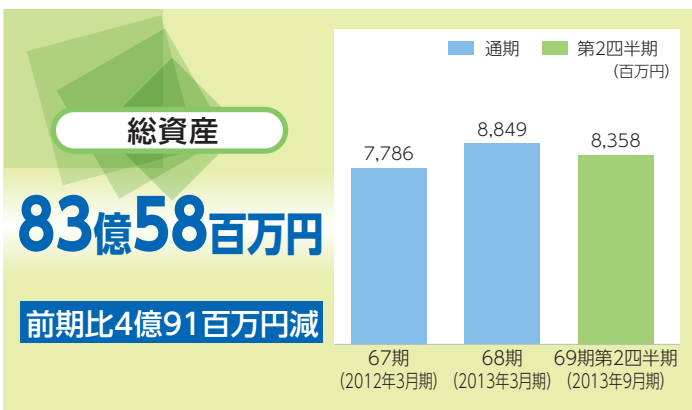
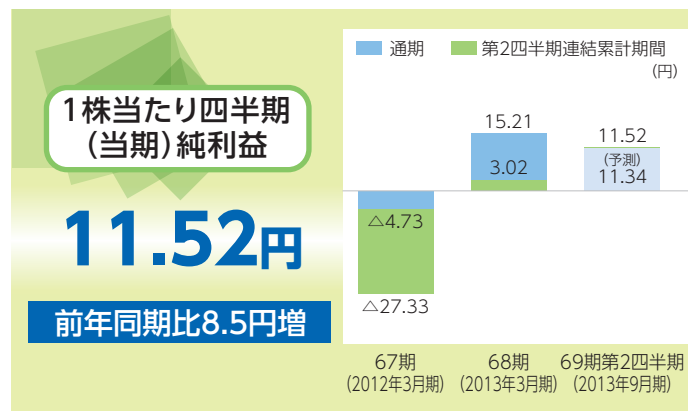
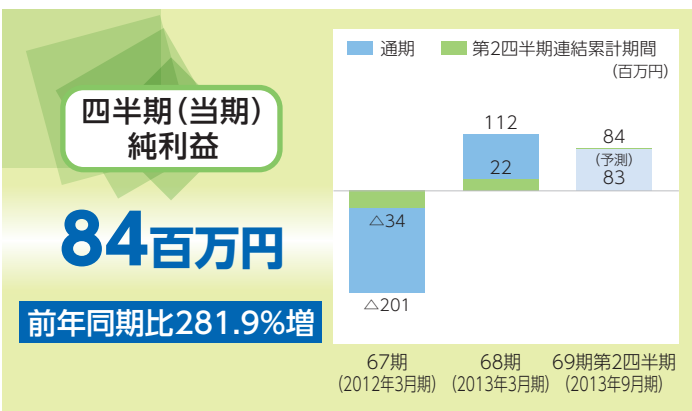
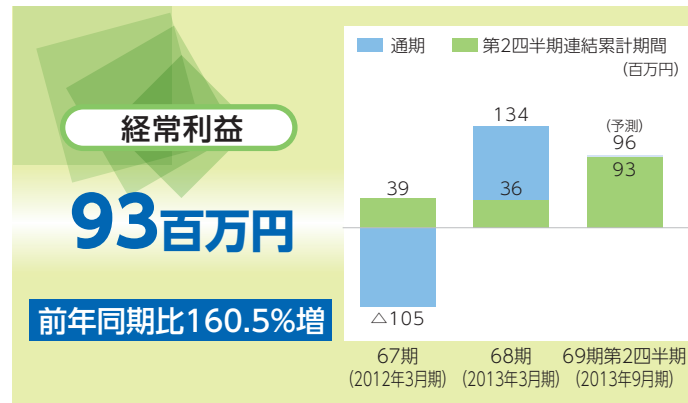
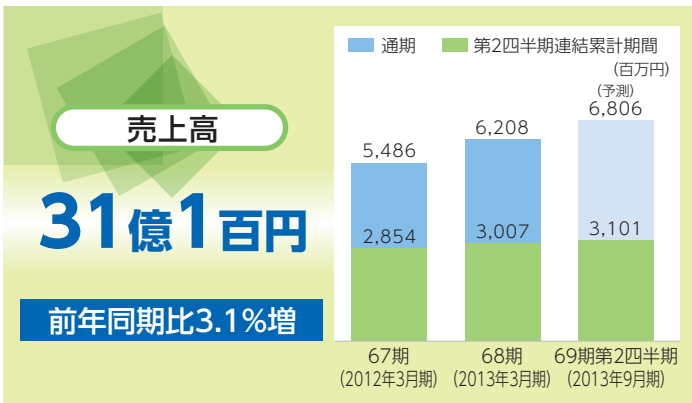
これに加え、世界最小サイズ音叉型水晶振動子「TFX-04」及びATカット水晶振動子「FCX-08」の市場投入によってウェアラブルデバイスなどの新たなマーケットを開拓します。特にウェアラブルデバイスは小型化、高機能化が進んで行きますので、そのためには、電子部品を小さなパッケージに収める必要があることから、当社の超小型水晶振動子がより強みを発揮して行くことになるでしょう。また、10月に発表しました水晶発振器「FCXO-06T」は早くもお客様からの引き合いがあります。今後も新製品開発による事業領域の拡大を図ってまいります。

株主の皆様へのメッセージをお願いします。

株主の皆様には、日頃からのご支援と多数のご意見などを頂戴し、誠にありがたく、感謝申し上げます。

当社では株主尊重を経営戦略の重要要素として認識しており、全てのステークホルダーに満足いただける企業を目指しております。そして、お客様の期待に応える新商品を開発し続けて行くことが当社の企業価値を高めて行くものと考えております。その為には、独自技術の追求と共に新たな要素技術の開発を進め、世界最小の水晶振動子TFX-04及びFCX-08の先の商品を創造してまいります。

引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

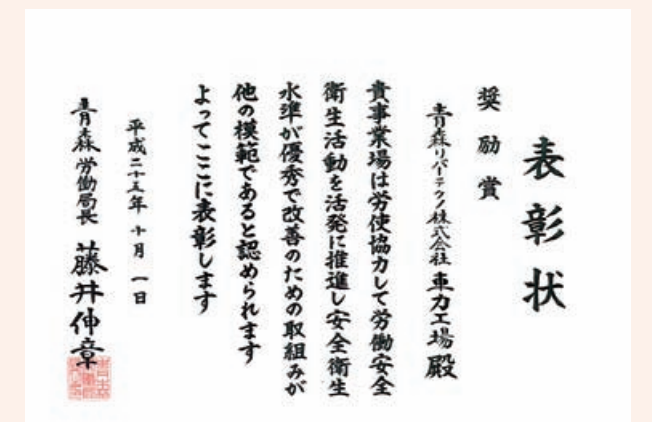


青森県産業安全衛生大会において 青森リバーテクノ(株)車力工場が 表彰されました。

2013年10月1日、ホテル青森にて「青森県産業安全衛生大会」が開催され、700名を越す出席者が見守るなか、当社の製造子会社の車力工場が青森労働局長「奨励賞」を授与されました。青森に多数ある職場において車力工場が安全衛生に係る優良な事業所として認定されたことは、大変名誉あることです。

現在、車力工場の社員数は当社工場の中では50人以下と小規模ですが、社員数の多い他工場と同レベルの管理体制をもって安全衛生活動を行ってきたことを高く評価されたことが受賞理由となりました。

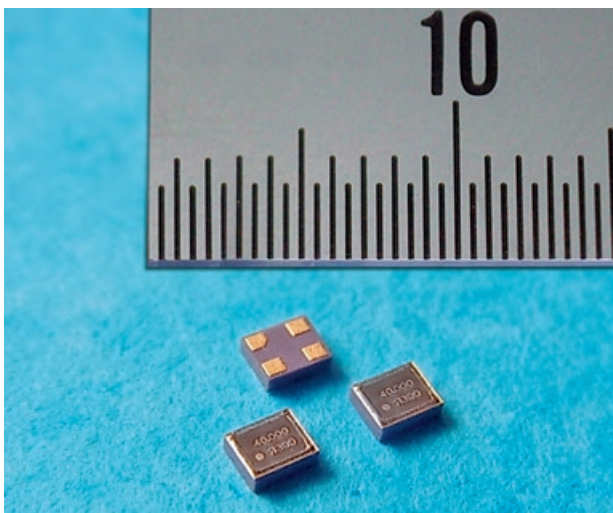
車力工場をモデルとし、今後も全職場において、ひとりひとりが安全衛生への高い意識を持ち、労働災害や職業性疾病を発生させない職場づくりに努めてまいります。



次世代スマートフォンやタブレット端末、ウェアラブルデバイス向けにも対応する水晶発振器を開発しました。

スマホやタブレットに代表されるモバイル機器は、年々小型化や高性能化が進んでいます。これに従って水晶デバイスに対する様々な要求が今後いっそう増すものと見られます。

水晶発振器「FCXO-06T」は、これらのニーズに応えるべく次世代スマートフォン、タブレット端末のほか、関心が高まりつつあるウェアラブルデバイス向けに開発された待望の新製品です。当社独自の「電子ビーム封止工法」を用いた高精度パッケージを使用することで、高い基本性能と信頼性を確保しているほか、環境に配慮したRoHS指令対応製品です。

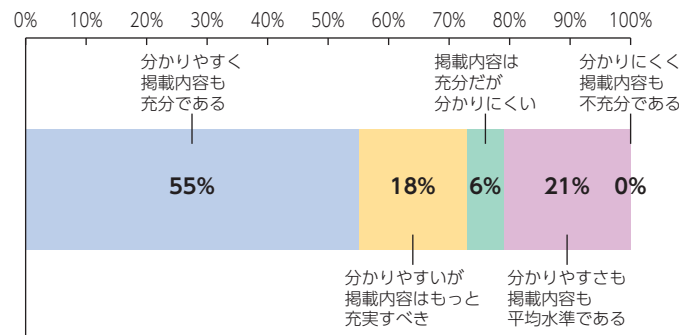


■製品特長

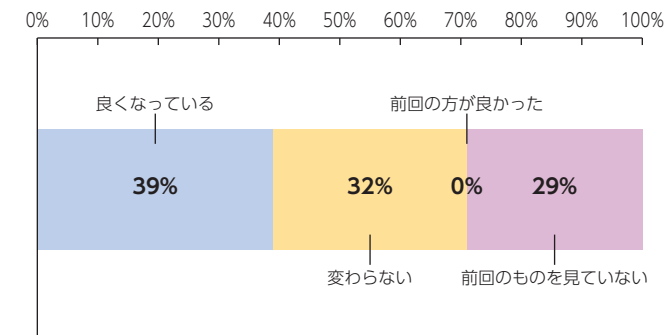
1. 小型設計 (2.0×1.6×0.8mm)
2. 周波数許容偏差±15ppm(-40~+85℃)という狭周波数偏差に対応可能
3. 2mA Typ. (電源電圧3.0V 無負荷)の低消費電流
4. CMOSレベルの矩形波出力
5. セラミックパッケージと金属蓋で高信頼性確保
6. 無鉛はんだ用リフローソルダーリングが可能
7. RoHS指令対応・完全鉛フリー

第68期株主通信においてお願いいたしました株主様アンケートに、多くの株主の皆様からご回答を頂戴いたしました。心からお礼申し上げますとともに、お寄せいただきましたご回答をご紹介いたします。株主の皆様からいただきましたご回答の内容を真摯に受け止め、今後のリバーグループの経営及びIR活動に活かしてまいります。

1. 掲載内容についてどう思われますか。



2. 前回の株主通信(報告書)と比較して、いかがでしたか？



その他当社に対するご意見をお聞かせください。

- 超小型水晶製品の強みを、生かして頂きたい。
- 優れた技術を持っているのに営業利益率が低いように感じます。
- 現在5,000株所有です。株価対策もお願いします。
- 優待が欲しい。
- 株主通信にもありましたが、大阪で個人投資家向会社説明会を開いてほしい。
- 株価は伸び悩んでいますが、成長企業とっております。応援しています。
- 更なる収益拡大⇒増配を期待する。
- 貴社を支持します。安全は全てに優先する。としてください。
- 貴社のご活躍を応援しています。頑張ってください。
- もっと業績を上げて株価を上昇させてほしい。
- 社名から事業内容が想像できない。感心しない。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6666

いいかぶ

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で簿謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
IR-株主リサーチ事務局 MAIL:info@e-kabunushi.com



Corporate Profile & Stock Information

会社概要・株式の状況

会社概要

(2013年9月30日現在)

| | | | |
|------|--|--------|--|
| 商号 | リバーエレテック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION | | |
| 設立 | 1951年3月9日 | | |
| 資本金 | 10億7,052万円 | | |
| 従業員数 | 98名 | | |
| 役員 | 代表取締役社長 | 若尾 富士男 | |
| | 常務取締役 | 三枝 康孝 | |
| | 取締役 | 高保 譲治 | |
| | 取締役 | 萩原 義久 | |
| | 常勤監査役 | 古屋 延行 | |
| | 社外監査役 | 越智 大藏 | |
| | 社外監査役 | 丸山 正和 | |

事業所

| | |
|-------|---|
| 本社 | 〒407-8502 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号 |
| 東京営業所 | 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号 |
| 大阪営業所 | 〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F |

リバーグループ（子会社の状況）

| 会社名 | 資本金 | 議決権比率 (%) | 事業内容 |
|---|------------------------|-----------|------------|
| 青森リバーテクノ株式会社 | 千円 50,000 | 100 | 電子部品の製造 |
| 台湾利巴股份有限公司 | 千台湾元 19,200 | 100 | 電子部品の販売 |
| River Electronics (Singapore) Pte. Ltd. | 千米ドル 123 | 100 | 電子部品の販売 |
| River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd. | 千マレーシアリングギット 25,400 | 100 | 電子部品の製造 |
| 西安大河晶振科技有限公司 | 千元 30,023 | 100 | 電子部品の製造・販売 |

株式の状況

(2013年9月30日現在)

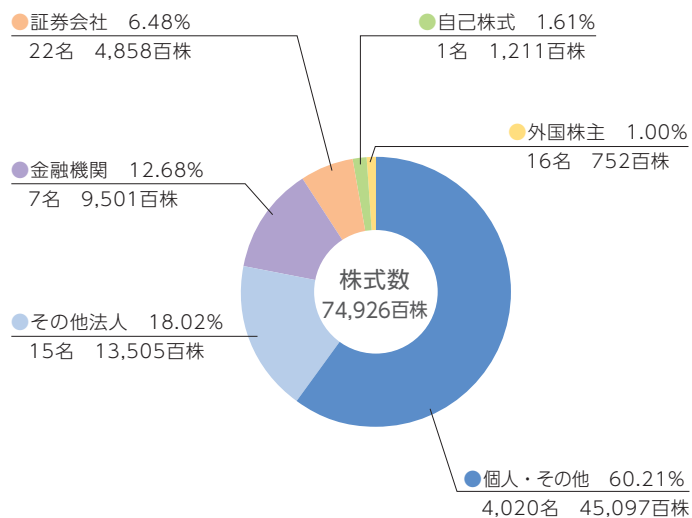
| | |
|----------|---------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 21,600,000株 |
| 発行済株式の総数 | 7,492,652株 (自己株式121,148株を含む) |
| 株主数 | 4,081名 (前期末比1,291名増) |

大株主

| 株主名 | 持株数 (百株) | 持株比率 (%) |
|------------|----------|----------|
| 若光株式会社 | 12,233 | 16.60 |
| 日本証券金融株式会社 | 3,218 | 4.37 |
| 株式会社山梨中央銀行 | 2,680 | 3.64 |
| 若尾 富士男 | 1,987 | 2.70 |
| 楽天証券株式会社 | 1,974 | 2.68 |
| リバー従業員持株会 | 1,691 | 2.29 |
| 若尾 磯男 | 1,651 | 2.24 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,500 | 2.03 |
| 持原 和則 | 1,300 | 1.76 |
| 若尾 亘 | 1,282 | 1.74 |

(注) 持株比率は、自己株式1,211百株を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

| | | |
|-------------------|---|---------|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 | |
| 基準日 | 定時株主総会 | 毎年3月31日 |
| | 期末配当 | 毎年3月31日 |
| | 中間配当 | 毎年9月30日 |
| | そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 | |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 | |
| 事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 | |
| 郵便物送付 / 電話お問い合わせ先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル) | |
| 公告方法 | 当社ホームページに掲載する。(電子公告) < http://www.river-ele.co.jp/ > ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 | |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | |

未払い配当金の支払い、支払い明細等の発行に関するお問い合わせ

| | |
|-------------|--|
| お手続きお問い合わせ先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| お取扱店 | みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店及び全国各支店 |

住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴う手続き等

証券会社でお取引をされている株主様

| | |
|-------------|------------|
| お手続きお問い合わせ先 | お取引のある証券会社 |
|-------------|------------|

特別口座に記録されている株主様

| | |
|-------------|---|
| 特別口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| お手続きお問い合わせ先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) |
| 特別口座での留意事項 | ①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続を行う必要がございます。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。